



○ 草の根パートナー型

平成21年度第一次補正予算による草の根技術協力事業 緊急経済危機対応-フォローアップ型採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	東ティモール
2. 事業名	エルメラ県レテフォホ郡におけるコーヒー生産者自立促進事業
3. 事業の背景と必要性	当団体は2003年8月より同地域にて「コーヒーの品質改良と自給用農畜産物多様化を通じた地域開発プロジェクト」（第1期）「コーヒー生産者組合自立促進事業」（第2期）をそれぞれ実施し、コーヒーの精製技術指導による品質改良を中心に、農産物の多様化と生産性向上、また生産者組合の設立・運営支援を行ってきた。コーヒーの品質については「スペシャルティ・コーヒー」として専門家から高い評価を受けるまでになった。しかし、事業の持続性を図るのに重要な生産者組合の運営能力と規模が脆弱な状態にある。このため、生産者組合の自立促進を軸とした、コーヒーの高品質化の定着および生産者数の拡大が求められている。
4. 事業の目的	コーヒー生産者組合「カフェ・タタマイラウ」の組合員に対し、先行事業での目標を長期的な視野に置き、過去6年間で達成した成果を発展させることを目的としている。具体的には、1) 高品質なコーヒー生産技術とコーヒー果肉の有機堆肥化技術がばらつきなく定着し、単位面積あたりの生産量が向上すること、2) 各生産小グループの協働がより強化され、各グループが互いから学びあって精製過程まで独自に運営されること、そして、3) 生産者数を継続して増やし、組合の総生産量の増加を図ることを目指す。これは、生産者1個人の生活改善や向上のため、そして組合を自立して運営するのに必要な資金として、毎年の総生産量100トン以上をフェアトレード価格で輸出する必要があり、そのためには生産者数が約400名という規模への拡大が不可欠なためである。
5. 対象地域	エルメラ県レテフォホ郡
6. 受益者層	コーヒー生産者組合 カフェタタマイラウ (Cooperative Café Tatamailau) 組合員233世帯(約2300人)、およびその周辺住民 (エルメラ県レテフォホ郡の6村 (ハウフ村、ドックライ村、ゴウロク村、カトライ・レテン村、カトライ・クライク村、ラウアナ村))
7. 活動及び期待される成果	1. 高品質なコーヒーの品質が維持され、同面積当たりの生産性が向上する 2. コーヒーの収穫から精製までの過程が生産者によって運営される 3. コーヒーの精製技術を習得した生産者数と総生産量の増加が図られる
8. 実施期間	2009年11月～2011年3月 (1年5ヶ月)
9. 事業費	15,000千円
10. 事業の実施体制	PWJ東ティモール事務所が短期専門家、民間企業などと協力しながら、生産者組合カフェ・タタマイラウを受益者として事業を直接実施する。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 ピース ウィンズ・ジャパン (PWJ)
2. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 武力紛争及び自然災害の被災者、難民に対する緊急人道支援とその予防・解決への取り組み ● 紛争や災害後の地域の復興・開発支援、及び貧困地域の開発支援 ● 貧困や紛争をもたらす社会構造の変革、援助システムの改善
3. 対象国との関係、協力実績	<ul style="list-style-type: none"> ● 1999年～2002年 独立選挙後の国内避難民への緊急、復興支援 ● 2002年～2003年 エルメラ県レテフォホ郡コーヒー生産農民支援 ● 2003年～2006年 JICA草の根技術協力 (パートナー型) エルメラ県レテフォホ郡におけるコーヒーの品質改良と自給用農畜産物多様化を通じた地域開発プロジェクト ● 2006年～2007年 国内紛争による国内避難民への緊急支援 ● 2006年～2009年 JICA草の根技術協力 (パートナー型) 東ティモール共和国エルメラ県レテフォホ郡におけるコーヒー生産者組合自立促進事業